

## 会場別テーマに関連する意見及びその他意見・要望と回答【川地会場】

### テーマ

#### (1) 安心・安全な環境の確保 (2) 防災対策

平成25年7月2日(火) 会場名 川地コミュニティセンター

意見・要望	回 答
① 市役所が縦割り行政になっている。事案によっては関係部署間で横の連携をとるといった対応もできるはず。どのように指導しているのか伺う。	職員が現場で市民の皆さんの声を聴き、それを持ち帰って職場の中で話をする。それを課長、部長まで上げていくというように、現場の課題を組織の課題に変えていくことが、本当に市民の皆さんのお役に立てるような解決策につながると思っています。 昨年度から、まずは現場の責任者である管理職が職員の話聴き、一緒になって考える姿勢を持つことで、市民の皆さんの声が市長まで届くという組織改革に取り組んでいるところです。また、月2回行っている市長をはじめ市の幹部による部長会議の中でも、ご指摘のようなことも全員で協議し、組織の改革に努めていきます。
② 市民タクシーの利用に制約があり利用できない場合が多いので、現実に則した運用への改善をお願いしたい。	これまでの条件であった乗車距離4kmについては、地域公共交通会議会長の津森副市長、地域振興部長のほうで検討します。巡回バスにするかどうかについては、住んでいらっしゃる方に一日でも長くその地に住んでもらいたいので、住民自治組織の皆さんにも真剣に考えてもらいたいと思っています。
③ 保育所規模適正化について、検討委員会で保育所の現地視察を行う際は、該当の地域・保育所のことをよく知っている地域委員を立ち合わせるなどし、現地の声、地域声を十分にくみ上げてほしい。	保育所の適正規模についての基準は定めましたが、最終的には地域の皆さんとの合意がない限り、行政が強引に決定するようなことはしません。地域の住民自治組織の皆さんや保護者会の皆さんを含めて、十分に話し合っていきます。
④ 大雨あるいは洪水警報が出て、小学校が休校時、保護者が不在となる家庭の子どもたちを受け入れる放課後クラブなどの開設を検討していただきたい。	警報が出て学校自体が休校になった場合は、教室とか児童クラブがないので、子ども教室、放課後児童クラブで引き受けますとは言えません。本当に休校になった場合、災害になった場合、学校が避難場所ですので、どういう形で子どもたちを預かっていくのか、また地域がどう係わっていいのか、誰もが納得する方法の検討

会場別テーマに関連する意見及びその他意見・要望と回答【川地会場】

テーマ

(1) 安心・安全な環境の確保 (2) 防災対策

平成25年7月2日(火) 会場名 川地コミュニティセンター

意見・要望	回 答
	<p>を丁寧にしていくべきだと思っています。</p>
<p>⑤ 重点ビジョンとして工業団地や農村交流施設を作っても、問題は存続できるかどうかである。一年を通して暑い時期、寒い時期も集客できるのは大型ショッピングモールである。庄原市と一緒に誘致を考えるなど、大きな戦略が必要ではないか。</p>	<p>ショッピングモールやアウトレット等の大型集客施設の誘致を考えると、先方の営業戦略がどうかということがあって立地するかどうかに関わり、将来的に存続可能かどうか判断し、彼らが決めると思います。</p> <p>一方、外部からの出店の中で地場の商店街が衰退してきている事実もあり、さらに大きい商業施設が来ると新たな問題が出てきます。企業誘致は新たな雇用の確保という点から真剣に進めていきます。</p>
<p>⑥ 瀬谷排水機場の管理運営について、緊急時の連絡体制、行政側の担当者の連絡先等及び江の川水位と排水機場の初期作動の関係を説明していただきたい。</p>	<p>市では、注意報が出た段階で危機管理課へ職員3人を待機させ情報収集等を行い、警報の段階で、部局長が集合し対策を行います。</p> <p>災害の大きさに応じて災害対策本部を設置し、消防団、消防署、警察、県、国等の関係機関が集合し、それぞれの指揮命令系統の中で情報を共有し指示を出していきます。</p> <p>江の川の水位と初動の体制について、瀬谷地区の場合は、栗屋水位観測所を基準点とし、水防団の待機水位4.5mを超えた時点で瀬谷排水機場へ4人の操作員を待機させます。氾濫注意水位5.6mを目安に、内水位と外水位の状況を操作員が判断してポンプを稼働します。</p>
<p>⑦ 上志和地の排水機が平成22年の災害時に稼働不能であった。非常時に正常に稼働するのか不安を抱いているので、点検とその回数、排水機の能力、耐用年数、排水機稼働の判断基準について具体的に説明していただきたい。</p>	<p>職員が年9回点検を実施しています。その状況に応じて専門業者を呼んでさらに点検・検査を受けています。</p> <p>排水機の能力については、1号ポンプは毎分70トン、2号ポンプは毎分200トン、合計で毎分270トンの排水能力があります。さらに、緊急時には国土交通省所</p>

会場別テーマに関連する意見及びその他意見・要望と回答【川地会場】

テーマ

(1) 安心・安全な環境の確保 (2) 防災対策

平成25年7月2日(火) 会場名 川地コミュニティセンター

意見・要望	回答
	<p>有の排水ポンプ車に動員をかける体制になっています。</p> <p>排水機を稼働させる判断については、江の川の粟屋水位観測所を基準点として、水防団の待機水位 4.5mを超えた時点での操作員の待機、さらに氾濫注意水位の 5.6m、これを目安に内水位と外水位の状況を判断して、ポンプの稼働を行います。</p>
<p>⑧ 秋町の下条地区に設置してある排水ポンプについて、非常時に稼働してくれるのか。開始手順のマニュアルを作っていただきたい。また排水機を稼働させる判断基準、管理者名と連絡場所、排水機稼働開始の決まりごとについて具体的に説明していただきたい。</p>	<p>排水ポンプは、内水位が 70 cmに達した時点で稼働することが可能になります。</p> <p>市の方で統一して指示命令を出していきますので、危機管理課へ連絡してください。</p> <p>排水機稼働の決まりごとについては、国土交通省が管轄する秋町の排水樋門の樋門警戒水位が 3.9mに達した時点で操作員が出動、待機する体制になっています。水替え作業連絡班員も出動して待機しています。外水位が上昇して樋門を操作することが予測される場合は、水替え作業をしている業者が対応します。説明が足りない部分につきましては、危機管理課へ問い合わせください。</p>
<p>⑨ 川地小学校下にカーブミラーを近々設置していただけることになったと聞き心待ちにしている。</p> <p>県道 37 号線の川地中学校の下約 200mは、樹木が茂り陰地になっているため、冬場は道路が凍結・圧雪し車の横転、転落、歩道への乗り上げ等事故が起きている。小・中学校の通学路のため、安全対策を要望する。</p>	<p>カーブミラー設置の件については、土地所有者の方の了解が得られれば、今年度の交通安全施設の関係予算で対応させていただきたいと思っています。</p> <p>川地中学校下の立木については、民地のため所有者に切って頂くのが基本ですが、道路管理上の安全を考慮したとき、所有者の方が切るのが難しいという状況においては、道路管理者が所有者の了解を得て切ることができます。県が道路管理者となりますので、県へ話をします。</p> <p>安全対策については、構造上ガードレールの設置ができるかどうか、県へ話をします。凍結事故の抑制看板については、県と市と、必要であれば警察も含めて地元自治会の方と一緒に現地で話をし、最善策を出していきたいと思っております。</p>

## 会場別テーマに関連する意見及びその他意見・要望と回答【川地会場】

### テーマ

#### (1) 安心・安全な環境の確保 (2) 防災対策

平成25年7月2日(火) 会場名 川地コミュニティセンター

意見・要望	回答
<p>⑩ 県道37号線の落合橋西詰の三差路は、広島方向から志和地駅方面への右折時、対向車両が見えないことと、追突される危険性が高いので、カーブミラーや表示板、センターライン、右折レーン、速度制限表示、信号等の設置で事故防止策を要望する。また、落合橋東詰の三差路についても道路が大きく曲がっているため対向車の確認が難しく危険な状態なので、事故防止策を講じてほしい。</p>	<p>ご指摘の路線は広島三次線ということで県管理の主要地方道です。道路管理者である広島県と三次市、そしてご提案のいくつかの例は道路管理者が対応するものと、公安委員会の規制がかかって、警察、公安が対応するものと分かれています。日程調整を市がしますので、広島県、三次市、三次警察署、地元の皆さんと現地で知恵を出して検討していきたいと思います。</p>
<p>⑪ 防災対策で無免許でも使える無線を購入したが、出力が弱いため実際災害が発生したときは遠くまで使えない。市の予算で本体もしくは中継器を購入してほしい。</p>	<p>今年度、市では、消防団に対して各方面隊に搭載する無線機を1台と移動式を7台整備することとしています。 これから3年間で行う緊急地域防災力強化事業の中で、自主防災組織へ補助金として出しますのでご活用ください。 現在、川地地域の補助金額とすれば40万円余り、青河地域では30万円余りになりますので、有効に活用していただければと思っています。</p>
<p>⑫ 片山地区の立木の伐採、河川の堤防の事業について、地域の皆の意見を十分に汲み上げ、皆が納得するような事業にしてほしい。</p>	<p>事業を進める以上は、地域の皆さんが納得し、事業をして本当に良かったと思っていただけるよう、国土交通省との繋ぎもしながら進めていきたいと思っています。</p>
<p>⑬ 地域集会所について、建物は年々劣化し修理の必要も出てくる中で、地域住民だけでは補修ができない。地域集会所整備事業については、ぜひ今後も継続してほしい。</p>	<p>現在の財政状況では、補助金をどんどん増やせる状況ではないので、地域の皆さんの声を聞かせていただきながら、必要な補助金は残していきたいと考えています。</p>